

# 履歴書記入例

履 歴 書				
ふりがな 氏 名	(姓) とうけい (名) たろう 東 経 太 郎	男・女	国 籍	外国籍の場合のみ国名を記載
生年月日	1970年 1月 1日 生 ( 42才)	現住所	〒185-8502 東京都国分寺市南町 1-7-34 東経ハイツ 101号室 TEL 自宅：042-000-0000／携帯：090-0000-0000 E-mail tokeitaro@tku.ac.jp	
学 歴				
年 月	事 項			
1986年 4月	東京都立東京高等学校 入学			
1989年 3月	東京都立東京高等学校 卒業			
1989年 4月	東京経済大学経済学部経済学科 入学			
1993年 3月	東京経済大学経済学部経済学科 卒業(学士(経済学))			
1993年 4月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 修士課程 入学			
1995年 3月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 修士課程 修了(修士(経済学))			
1995年 4月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士後期課程 入学			
1998年 3月	東京経済大学大学院経済学研究科経済学専攻 博士後期課程 単位取得満期退学			
職 歴				
年 月	事 項			
1998年 4月	A大学 非常勤講師(「日本経済論」担当、2000年3月まで)			
2000年 4月	B大学 経済学部専任講師(「日本経済論」「経済政策」担当、2003年3月まで)			
2003年 4月	C大学 経済学部准教授(「日本経済論」「経済政策」担当、現在に至る)			
学会ならびに社会における活動等				
年 月	事 項			
1998年 4月～現在	東都経済学会 会員			
2008年 4月～2010年 3月	東都経済学会 評議員			
賞 罰				
年 月	賞罰共なし			
2013年 4月 1日 上記の通り相違ありません				
				氏名 東 経 太 郎


## 【記入上の注意事項】

全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>日付はすべて西暦で記入。</li> <li>大学院研究生歴は学歴欄、日本学術振興会歴(受入研究機関名を併記)は職歴欄に記入。</li> </ul>
氏名	<ul style="list-style-type: none"> <li>姓名の順に戸籍名どおり正確に記入(通称を使用する場合は「通称名(戸籍名)」の順で記入)。</li> <li>外国籍の場合は、日本語または英語で姓名の順【姓の欄にファミリーネーム、名の欄にファーストネーム ミドルネーム】(両方の間は[, ])で記入し、ふりがな欄はカタカナで記入。</li> <li>例)『John Fitzgerald Kennedy』の場合 ⇒ Kennedy, John F. ※省略する場合は[.]を使用</li> <li>大学での使用名が異なる場合は「大学での使用名: J. F. Kennedy」などと明記。</li> </ul>
国籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国籍の場合のみ国名を記入(日本国籍の場合は記入不要)。</li> </ul>
生年月日	<ul style="list-style-type: none"> <li>記入時の満年齢を記入。</li> </ul>
学歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>高等学校入学以降、古い年月から順に在学期間の始期・終期の年月をもれなく記入。</li> <li>学校名、学部、学科、専攻、学位等は正式名称で記入(「同校」等の省略は不可)。</li> <li>日本の大学の学位は1991年6月までに取得した場合は「〇〇修士」、それ以降は「修士(〇〇学)」のように記入。</li> <li>博士後期課程を終えて博士学位を未取得の場合は「博士後期課程単位取得満期退学」と記入。</li> <li>記入時に卒業見込み、修了見込みまたは満期退学見込みの場合は、その旨を明記。</li> </ul>
職歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>就職年月順に、在職した機関名、所属、専任・非常勤の別、職名・役職名、担当科目等を記入。</li> <li>在職期間が分かるよう、退職済の場合は(〇年〇月まで)、現職の場合は(現在に至る)と明記。</li> </ul>
学会・社会活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>専攻、研究分野等に関連した事項について記入。</li> <li>《学会活動》《社会における活動》に区分して、古い年月から順に記入。</li> </ul>
賞罰	<ul style="list-style-type: none"> <li>特記事項がない場合は「賞罰共なし」と記入。</li> </ul>
最終行	<ul style="list-style-type: none"> <li>記入内容を確認後、記入日と氏名を入力し、印鑑を捺印(外国籍の方はサインでも可)。</li> </ul>

# 教育研究業績書記入例

主要な業績について3ページ以内で作成

## 教育研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌等 または発表学会等の名称	概 要
1. 著書 『〇〇概論〈大倉新書〉』	単著	2012年3月	大倉出版	〇〇についての入門書として、××の視点から総合的に論じた。  共著者：大倉一郎（編者）他5名 担当部分：第1章「〇〇の変化と××関係」、pp. 11-20 〇〇による××関係への影響について、△△の立場から論じた。
『〇〇による経済学との対話—△△の視点から〈シリーズ〇〇学への招待10〉』	共著	2010年1月	東経書房	
2. 学術論文 「〇〇理論に関する一考察—批判的アプローチ」	単著	2012年4月	『△△△』第1巻第1号、 日本〇〇学会、pp. 1-10	過去40年間の〇〇に関する諸統計について包括的な検討を加え、△論の問題点を明らかにした。 <b>* 査読付き論文</b>
3. その他 《翻訳》 『〇〇学概論』	単独	2010年4月	大倉出版	△△著。〇〇学の入門書の翻訳。
2013年4月1日 上記の通り相違ありません				
				氏名 東経 太郎 

### 【記入上の注意事項】

全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>「教育研究業績書」は主要な業績について3ページ以内で作成すること。</li> <li>研究業績は、すべて学術的専門的なものとし、<u>公刊されたものに限る</u>。</li> <li>著書、学術論文、その他に分け、それぞれ<b>発行・発表年月が新しいものから順に記入</b>。</li> <li>書籍名や雑誌名は『 』で、論文名は「 」で括る。</li> <li>欧文等、外国語の表記は、各専門分野・各言語の表記法にしたがって記述。</li> </ul>
著書、学術論文等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>著書名、論文名等を正確に記入（副題やシリーズ名を含む）。</li> </ul>
単著共著の別	<ul style="list-style-type: none"> <li>著書、学術論文の場合は、「単著」「共著」のいずれかを記入（一冊の本を数人で執筆した場合は、当該部分は「単著」であっても、「共著」とする）。</li> <li>翻訳、学会発表等の場合は、「単独」「共同」のいずれかを記入。</li> </ul>
発行または発表の年月	<ul style="list-style-type: none"> <li>発行または発表年月を西暦で記入。</li> </ul>
発行所、発表雑誌、発表学会等の名称	<ul style="list-style-type: none"> <li>学術論文は名称のほか、発表雑誌等の巻号、掲載頁まで明記。</li> <li>学位論文は、この欄にその旨を明記。</li> </ul>
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>概要について、著書、学術論文ごとに200字以内で明確かつ簡潔に記入。</li> <li>共著の場合は、共著者名を掲載順に全員記入し（共著者多数の場合は編者等で代表させ、「現法太郎（編者）ほか〇名」と省略可）、担当部分のタイトルと頁数を明記の上、概要を記入（抽出が困難な場合はその理由を明記）。</li> <li>査読付き論文は、この欄にその旨を明記。</li> </ul>
最終行	<ul style="list-style-type: none"> <li>記入内容を確認後、記入日と氏名を入力し、印鑑を捺印（外国籍の方はサインでも可）。</li> </ul>